

2012
Jリーグ選手等ホームタウン活動調査

2013年 3月19日
公益社団法人 日本プロサッカーリーグ

■概要

リーグ全体傾向分析

- 2012年全体傾向サマリー
- サマリー(データ)
- 活動ジャンル別サマリー
- 活動ジャンル(2012年内訳、2009年/2010年/2011年/2012年比較)
- 活動対象者(1)(2012年内訳、2009年/2010年/2011年/2012年比較)
- 活動対象者(2)(2012年活動ジャンル×対象者、対象者数内訳)
- 活動主催団体(1)(2012年内訳、2009年/2010年/2011年/2012年比較)
- 活動主催団体(2)(2012年活動ジャンル×主催団体)
- 活動場所(1)(2012年内訳、2009年/2010年/2011年/2012年比較)
- 活動場所(2)(2012年活動ジャンル×活動場所)
- 活動月(2012年活動月、2012年活動ジャンル×活動月)
- 選手の活動(2012年活動回数分布、活動時間分布(2011年比較))
- 監督・コーチ・社長の活動(2011年/2012年活動数、活動ジャンル内訳)

クラブ別傾向分析

- 活動回数増減比率
- クラブランキング
- 活動ジャンル傾向(1)(サマリー)
- 活動ジャンル傾向(2)(データ)
- 活動対象者傾向(1)(サマリー)
- 活動対象者傾向(2)(データ)
- 活動時間の多い選手(上位3位)

概要

■目的など

- ・選手のホームタウン活動への参加状況を、選手毎の参加時間まで詳細に把握する。
- ・クラブ間で情報共有し、今後の活動充実に結びつける。
- ・欧米には選手契約などで、年間の活動参加時間を義務づける例がある。

■調査対象

- ・2012年シーズンJ1/J2所属の40クラブによる、トップチームの選手(2種登録含む)、監督・コーチ、社長(理事長)が参加したホームタウン活動

■調査方法

- ・2012年1月～12月に行われたホームタウン活動について、各クラブのホームタウン担当がアンケートに入力

・質問項目

- ①開催日 ②名称・活動内容 ③活動ジャンル
- ④クラブ参加者/人数(選手/監督・コーチ/社長) ⑤開催場所/ジャンル ⑥対象者ジャンル/人数 ⑦活動主体
- ⑧主な協力団体/ジャンル ⑨各選手活動時間

■留意点

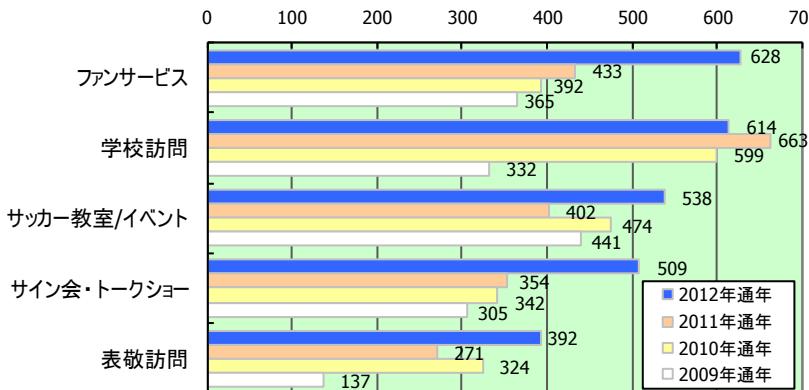
- ・全体の傾向分析のうち、p.6「活動ジャンル別サマリー」～p.15「選手の活動」については、選手もしくは監督・コーチが参加した活動を対象にしている。社長が行った活動はp.16でまとめている。

リーグ全体傾向分析

2012年全体傾向サマリー

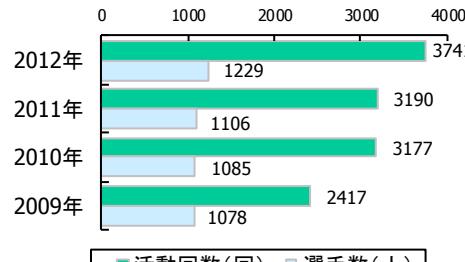
- ・2012年の選手等(監督・コーチを含む)ホームタウン活動の活動総数は3,741回となり、2011年の3,190回に対し551回の大幅増。
- ・参加した選手数は1,229人で2011年の1,106人から123人の増加(クラブ数は2011年は38、2012年は40)。
- ・選手1人当たりの平均活動回数は12.7回(2011年は12.1回)、平均活動時間は19.7時間(同18.4時間)と、いずれも前年を上回っている。

<活動ジャンル別 活動推移数(活動上位5ジャンル)>

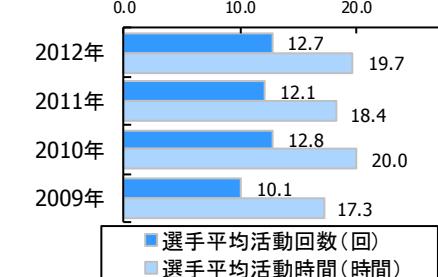


- ・上位4ジャンルを筆頭に、「クラブ」主催のイベントが多く、「クラブ」主催イベント合計活動数は2,593回となり、2008年から毎年増加している。クラブの主催比率は、2011年とほぼ同じく、全体の約2/3を占める。(p.10参照)
- ・「行政」が主催となっている「地元イベント」「サッカー教室/イベント」等への参加にも協力的で、地域との連携も深まっていると考えられる。(p.11参照)
- ・活動場所は、「学校」から「スタジアム」へシフトしつつある。増加傾向にあった「スタジアム」での活動が、「学校」での活動を上回りトップになった。「スタジアム」での「ファンサービス」の増加が寄与していると考えられる。(p.12、13参照)
- ・時期別にみると、活動はシーズン開幕から7月に向けて活動回数が増加し、夏休みシーズンを挟んだ後、再びシーズン終盤(10月～11月)に向け活性化している。最も活動が活発な10月、11月には、「学校訪問」「サッカー教室/イベント」「サイン会」「介護福祉活動」など数多く実施している。(p.14参照)
- ・社長活動数は引き続き増加傾向。
7割強が社長単独の活動で、やや増加傾向にある。(p.16参照)

<2012年活動総数、活動選手数>

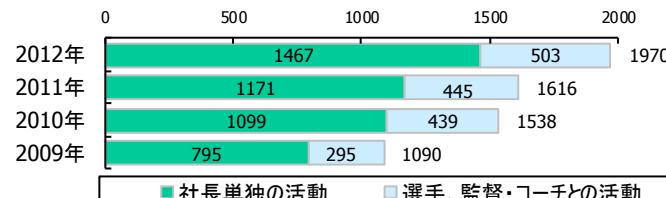


<2012年選手平均 活動回数、活動時間>



- ・活動数は、「ファンサービス」がトップ(628回)。次いで、「学校訪問」(614回)「サッカー教室/イベント」(538回)「サイン会・トークショー」(509回)「表敬訪問」(392回)となっている。
- ・「ファンサービス」が2011年に比べ大幅に増加。回数を減らした「学校訪問」を抜いて、全活動中トップになっている。
- ・「ファンソーター」を対象にした活動が大きく増加し、「サイン会・トークショー」も伸びている。「小学生以下」を対象とした「サッカー教室/イベント」は伸びたものの、「学校訪問」は2011年から減少しているため、「小学生以下」を対象にした活動はあまり伸びていない。(p.8,9参照)

<社長活動数 推移>



■選手/監督・コーチの活動総数:	3,741回/年	■参加選手総数:	1,229人/年
(2011年:3,190回/年)		(2011年:1,106人/年)	
(2010年:3,177回/年)		(2010年:1,085人/年)	
(2009年:2,417回/年)		(2009年:1,078人/年)	
(2008年:2,220回/年)		(2008年:1,042人/年)	
■1クラブ平均活動回数:	93.5回/年、7.8回/月	■選手延べ活動時間:	24,212.7時間/年
(2011年:83.9回/年、7.0回/月)		(2011年:20,313.3時間/年)	
(2010年:85.9回/年、7.2回/月)		(2010年:21,708.2時間/年)	
(2009年:67.1回/年、5.6回/月)		(2009年:18,693.8時間/年)	
(2008年:67.3回/年、5.6回/月)		(2008年:16,882.6時間/年)	
■社長の活動総数:	1,970回/年	■選手平均活動回数:	12.7回/年
(2011年:1,616回/年)		(2011年:12.1回/年)	
(2010年:1,538回/年)		(2010年:12.8回/年)	
(2009年:1,090回/年)		(2009年:10.1回/年)	
(2008年:921回/年)		(2008年:9.9回/年)	
■社長の1クラブ平均活動回数:	49.3回/年	■選手平均活動時間:	19.7時間/年
(2011年:42.5回/年)		(2011年:18.4時間/年)	
(2010年:41.6回/年)		(2010年:20.0時間/年)	
(2009年:30.3回/年)		(2009年:17.3時間/年)	
(2008年:27.9回/年)		(2008年:16.2時間/年)	

活動ジャンル別サマリー

サイン会/トークショー（13.6%）

- ・2008年から増加傾向で、2012年は大きく増加。全体で4番目に多い活動となっている。
- ・対象は7割弱がファン/サポーター。
- ・クラブ主催が大半を占めるが、スポンサーの主催で行うものも2割弱にのぼり、増加傾向。
- ・スタジアム開催のケースが多く5割程度を占める。街頭/商業施設で行うケースが2割強と増加。
- ・シーズン中の3月～11月はコンスタントに行われている。

ファンサービス（16.8%）

- ・2009年から増加傾向で、2012年は大きく増加。「学校訪問」を上回り2012年最も多い活動となる。
- ・対象はファン/サポーターを中心としており約8割を占める。他の対象は小学生(のファン)など。
- ・クラブ主催が大半を占めるが、スポンサー主催も約1割ほどある。
- ・スタジアムで開催されることが多く、約6割を占める。次いで、街頭/商業施設が2割ほど。
- ・年間を通して活動を行っている。

支援団体/ボランティア向けイベント(2.1%)

- ・活動数は2012年から増加。
- ・半数がクラブ主催、残りの過半数を後援会自ら主催している。
- ・一般貸しスペースやスタジアムで活動。
- ・2012年は5月の活動が最も多くなった。

スポンサーイベント（2.4%）

- ・活動数は2009年から増加傾向。
- ・クラブが主催となっているケース以外に、スポンサー自身が主催の場合が約4割ある。
- ・主に一般貸しスペースを利用して開催しているが、企業での開催もある。
- ・Jリーグのシーズン開幕前の2月、シーズン終了後の12月に活動が集中している。

地元イベント（6.8%）

- ・活動数は2010年度から2年連続で減少。
- ・地域住民を対象にしたもののが半数以上で、次に不特定の人を対象にしたイベントが続く。
- ・行政主催のイベントが約1/3を占め最も多い。この他、クラブ、スポンサー、自治会/商店街による活動もある。
- ・街頭/商業施設で全体の約半数が行われ、次いで、スポーツ施設/公園で行われるケースも多い。
- ・7月、8月に加え、10月～12月の活動も多い。

サッカー教室/イベント(14.4%)

- ・2012年から活動数が大きく増加。全体で3番目に多い活動となっている。
- ・対象は小学生以下の児童が約7割を占め、保護者が1割強を占める。
- ・クラブ主催が半数を占める。スポンサー、行政による活動も多い。
- ・スポーツ施設/公園で実施するものが最も多い。
- ・年間を通じて実施されているものの、特に7月～12月の活動が多い。

学校訪問（16.4%）

- ・2008年から増加傾向にあったが、2012年は減少。2番目に多い活動となっている。
- ・9割が小学生以下の児童を対象とした活動で、幼稚園への訪問も含まれる。中学生以上を対象としたものもある。
- ・クラブ主催が大半を占めるが、行政主催の場合も1割ほどある。
- ・6月、7月と夏休みを挟んで、9月～11月の開催が多い。

介護福祉活動（5.7%）

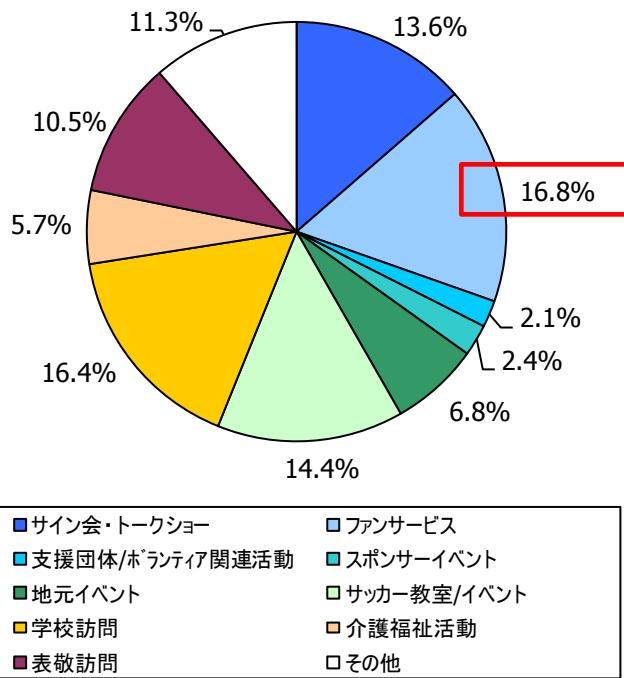
- ・活動数は2011年から減少。
- ・約半数が養護学校や病院などの小学生以下を対象にした活動。次いで、高齢者や障がい者を対象にしたものが多い。
- ・クラブ主催が活動のほとんどを占める
- ・活動場所は福祉施設や病院で行われる活動がほとんどを占めるが、スタジアムでの開催も1割程度、見られる。
- ・活動数はシーズン終了後の11月、12月がやや多くなっている。

表敬訪問（10.5%）

- ・活動数は2011年より大きく増加。
- ・スポンサーを対象とした活動が約6割、行政を対象とした活動が約3割を占める。
- ・2012年はシーズン前の1月の活動が最も多くなっている。次いで、シーズン終了の12月。

活動ジャンル

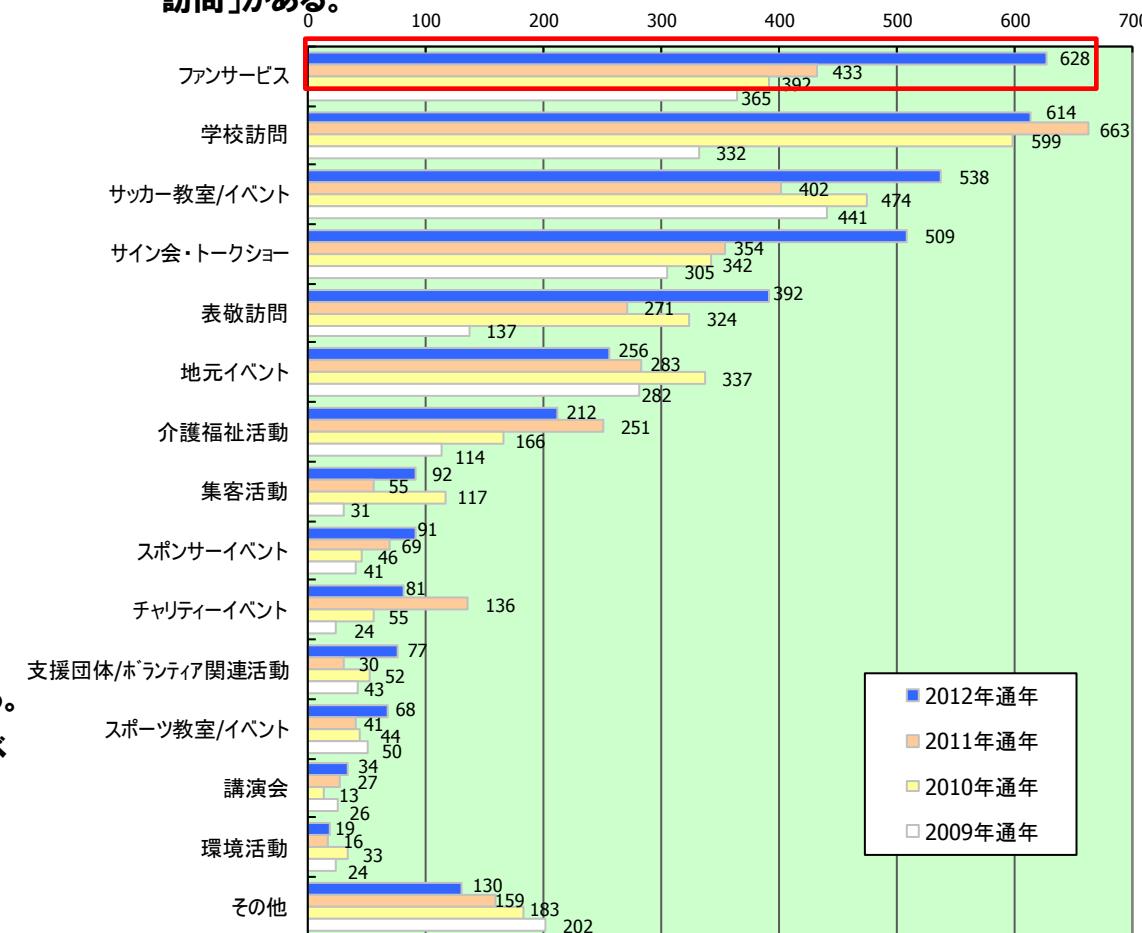
◆2012年 内訳



- 最も多い活動は「ファンサービス」。約2割弱を占め、「学校訪問」を抜きトップに。
- 次いで、「学校訪問」「サッカー教室/イベント」「サイン会・トークショー」「表敬訪問」と続く。
- 「表敬訪問」は「地元イベント」を抜き、約1割を占める。
- 「その他」の活動には、「集客活動」、「チャリティーイベント」、「環境活動」のほか「食育」や「必勝祈願」「商店会/サポートイングショップ挨拶回り」「クラブへの応援品、義援金贈呈式」等も含まれる。

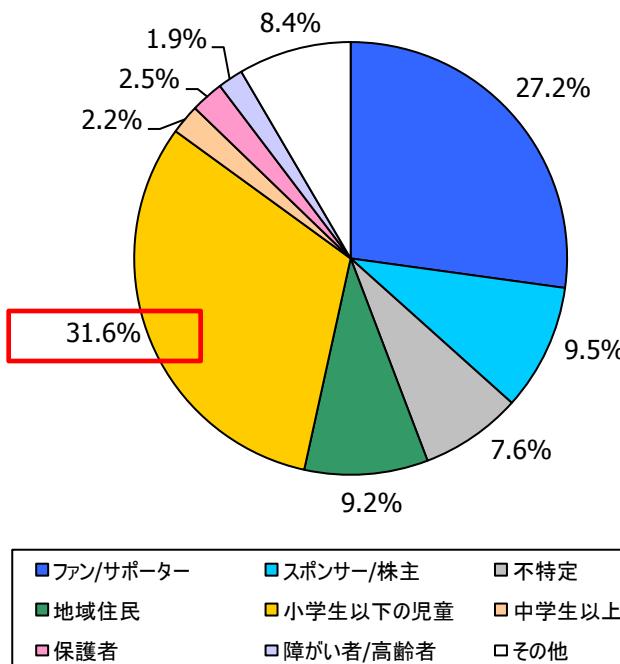
◆2012年/2011年/2010年/2009年比較

- 「ファンサービス」が、前年から大きく増加し、最も多い活動となった。
- 「学校訪問」は増加傾向にあったものの、2012年は減少し、2位。
- 3位「サッカー教室/イベント」は2011年に減少したもの再び増加している。
- 活動の多い上位5ジャンルのラインナップに変動はない。
- この他、2011年比で大きく増加した活動は、「サイン会・トークショー」「表敬訪問」がある。



活動対象者(1)

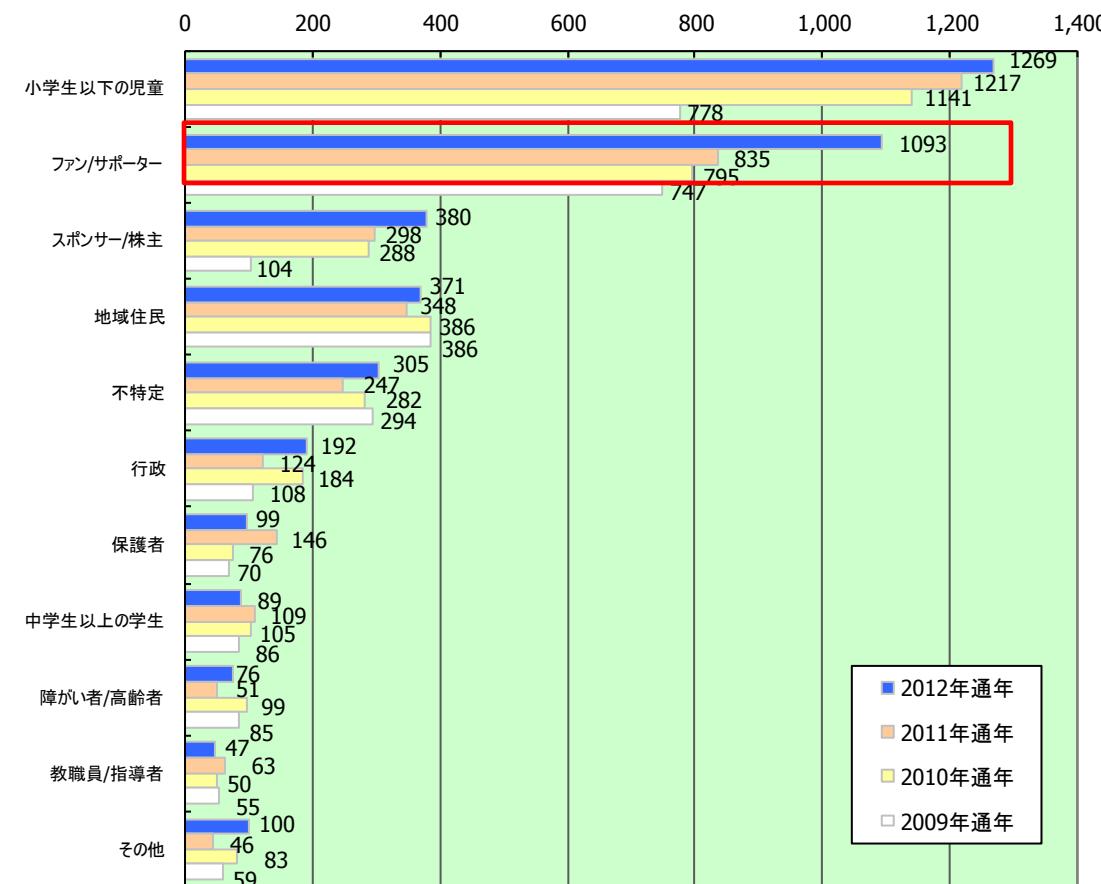
◆2012年 内訳



- 2011年と分布はほぼ変わらず、最も多い活動対象者は「小学生以下の児童」で全体の1/3。2番目は「ファン/サポーター」で、上位2つが突出している。
- 次に多い対象者は「スポンサー/株主」「地域住民」の順。
- 「その他」は、「スタッフ」や「ボランティア」「支援団体」等が含まれる。

◆2012年/2011年/2010年/2009年比較

- 2008年から「小学生以下の児童」と「ファン/サポーター」の上位2つが突出している傾向が続いている。
- 2011年に比べると「ファン/サポーター」「スポンサー/株主」が増加。特に「ファン/サポーター」の伸びが大きく、集客力向上に向けた取り組みの増加が伺える。



活動対象者(2)

◆2012年 活動ジャンル×対象者

- ・「小学生以下」を対象にした活動の内、回数は減少したもののが「学校訪問」が引き続き、全活動の中でトップとなっている。
- ・他の「小学生以下」を対象にしたものでは、「サッカー教室/イベント」「スポーツ教室/イベント」が増加。より実践的なスポーツを通じた活動へとシフトしつつある。
- ・「ファン/サポーター」を対象にした活動では、中心である「ファンサービス」「サイン会/トークショー」「支援団体/ボランティア活動」が増加。
- ・「不特定多数」を対象にした活動は、「集客活動」が増加。「チャリティーイベント」は減少し、震災以降の変化がみてとれる。

	ファン/ サポーター	スポンサー/ 株主	不特定	地域住民	小学生 以下	中学生 以上	保護者	障がい者/ 高齢者	行政	教職員/ 指導者	その他	合計
サイン会・トークショー	355	4	89	57	9	6	0	1	0	4	4	529
ファンサービス	514	4	28	36	50	3	2	0	6	1	4	648
支援団体・ボランティア関連活動	50	2	0	0	0	0	0	0	3	0	24	79
スポンサーイベント	4	84	0	4	0	0	0	0	2	1	2	97
地元イベント	33	12	76	129	13	3	4	1	11	1	6	289
サッカー教室/イベント	22	3	10	22	441	34	70	3	1	1	15	622
スポーツ教室/イベント	0	0	6	11	51	1	1	0	0	0	0	70
学校訪問	1	0	0	0	591	23	8	1	0	18	0	642
介護福祉活動	4	0	8	29	87	10	1	66	0	18	15	238
表敬訪問	1	245	4	3	1	0	0	2	138	0	12	406
講演	0	3	3	4	7	7	2	0	2	2	8	38
チャリティーイベント	61	0	8	5	3	0	0	0	4	0	2	83
環境活動	5	0	4	9	2	0	0	0	0	1	1	22
集客活動	20	5	50	24	0	1	0	2	3	0	1	106
その他	23	18	19	38	14	1	11	0	22	0	6	152
合計	1,093	380	305	371	1,269	89	99	76	192	47	100	4,021

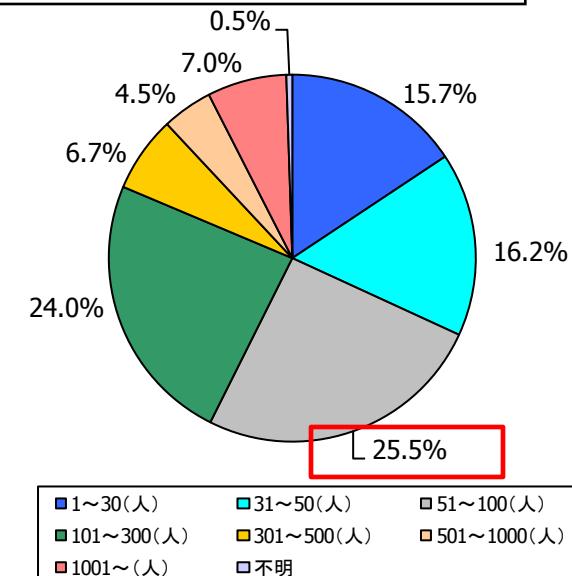
:その活動ジャンルで最も多い

:その活動ジャンルで2番目に多い

※ただし、網掛けは顕著に多いもののみ

※1つの活動について対象者は2つまで選択できるため、上の表の「合計」は「合計活動数」を上回る。

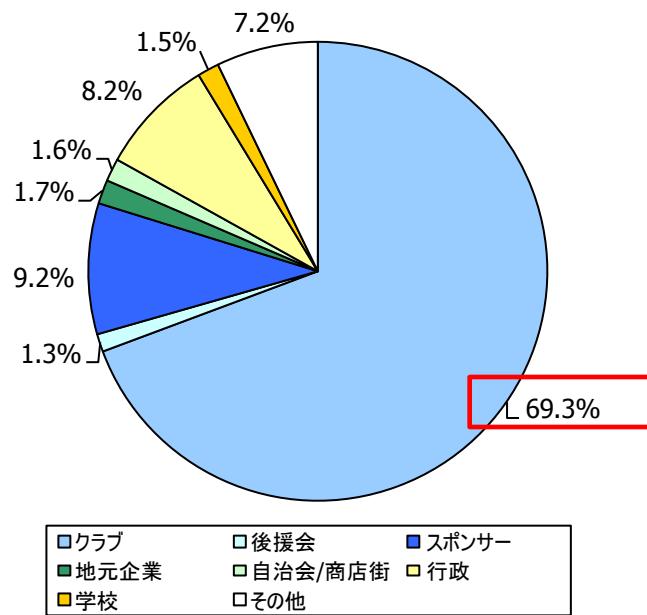
◆2012年 内訳



- ・「51～100人」規模の活動が最多く、「101～300人」「31～50人」と続く。
- ・「51～100人」「101～300人」の活動は、活動数上位の「学校訪問」「サイン会・トークショー」「サッカー教室/イベント」「ファンサービス」が多くを占めている。
- ・「501人～」の活動は、スタジアムでの「ファンサービス」や学校での「学校訪問」、街頭/商業施設での「地元イベント」の比率が高い。
- ・「1～30人」は、「表敬訪問」が主な活動となっている。

活動主催団体(1)

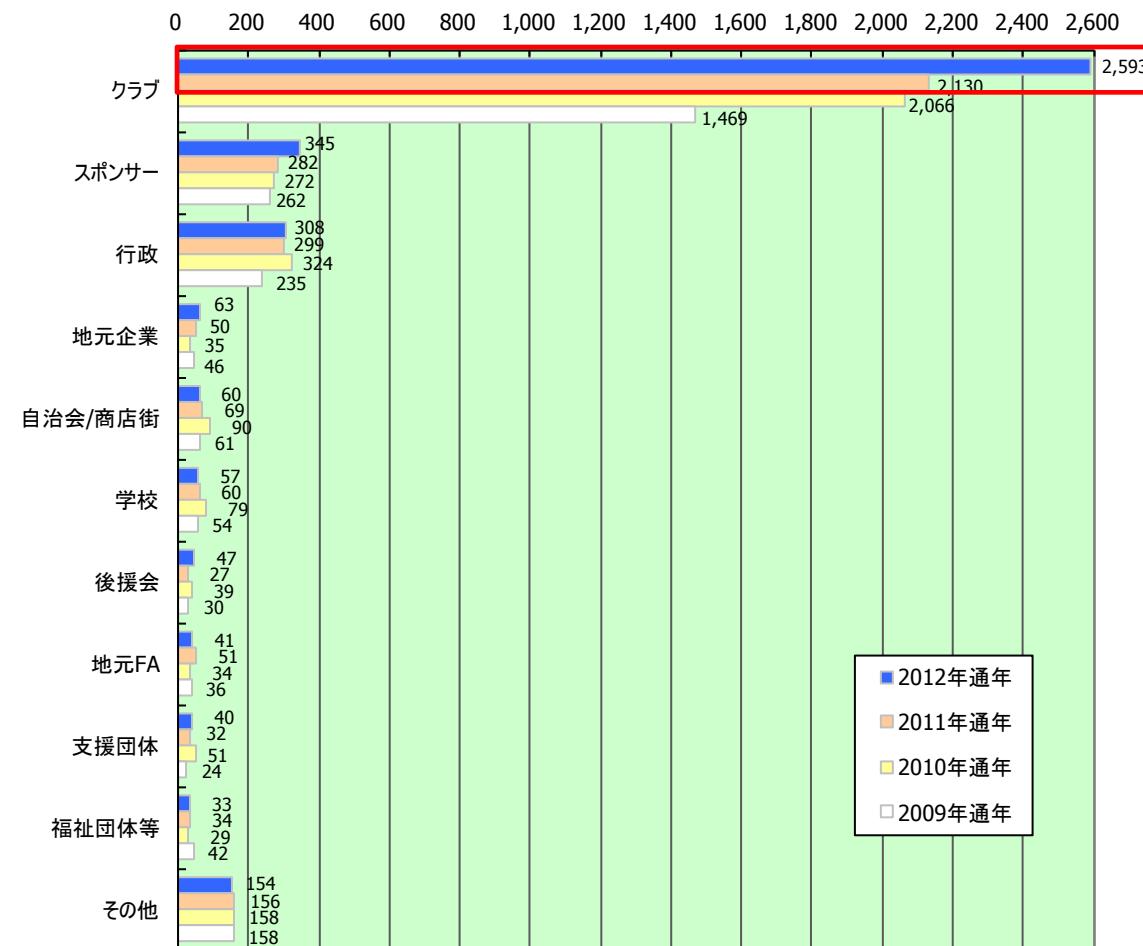
◆2012年 内訳



- ・クラブ主催の活動比率は、2011年同様、全体の約2/3強を占めている。
- ・クラブ以外の主催団体では、「スポンサー」が「行政」を上回り2位となった。
- ・「その他」には、「地元FA」や「他スポーツ団体/少年サッカークラブ」、地域の「スポーツ協会・施設」等などのスポーツ関係、「福祉関係」「支援団体」などのほか、地元で組織された「実行委員会」「地元経済団体」等が含まれる。

◆2012年/2011年/2010年/2009年比較

- ・クラブ主催の活動は毎年増加傾向。
- ・上位5団体のうち、「スポンサー」主催活動は引き続き増加傾向。一方、「自治会/商店街」「学校」主催活動は2010年から減少傾向。



活動主催団体(2)

◆2012年 活動ジャンル×主催団体

- ・「クラブ」が主催となる活動が増加。2012年、新たに「クラブ」主催が最も多い活動となったのは「支援団体/ボランティア活動」「スポーツ教室/イベント」。「クラブ以外」の主催が最も多いのは、「地元イベント」「講演会」のみに減少している。
- 「クラブ」主催の活動は多い順に、「学校訪問」「ファンサービス」「表敬訪問」「サイン会・トークショー」「サッカー教室/イベント」。
- ・活動数が増加した「スポンサー」主催活動では、「サイン会/トークショー」が大きく増加しトップ。
- 次いで、「サッカー教室/イベント」「ファンサービス」の順で多い。
- ・「行政」主催の活動で、最も多いのは「地元イベント」。次いで「サッカー教室/イベント」「学校訪問」。

	クラブ	後援会	スポンサー	支援団体	地元企業	地元FA	自治会/商店街	行政	学校	その他	合計
サイン会・トークショー	351	2	80	6	10	1	10	27	1	21	509
ファンサービス	512	14	67	4	7	0	3	3	0	18	628
支援団体・ボランティア関連活動	39	22	0	8	0	0	0	5	0	3	77
スポンサーイベント	52	2	35	1	0	0	0	0	0	1	91
地元イベント	48	2	41	5	11	1	38	77	3	30	256
サッカー教室/イベント	244	4	73	8	21	39	4	69	22	54	538
スポーツ教室/イベント	39	0	7	2	3	0	3	7	2	5	68
学校訪問	517	0	0	0	0	0	0	67	20	10	614
介護福祉活動	158	1	7	2	1	0	0	19	2	22	212
表敬訪問	383	0	5	0	0	0	0	4	0	0	392
講演	5	0	3	3	4	0	1	3	7	8	34
チャリティーイベント	66	0	2	0	0	0	0	1	0	12	81
環境活動	13	0	0	0	2	0	1	2	0	1	19
集客活動	90	0	1	1	0	0	0	0	0	0	92
その他	76	0	24	0	4	0	0	24	0	2	130
合計	2,593	47	345	40	63	41	60	308	57	187	3,741

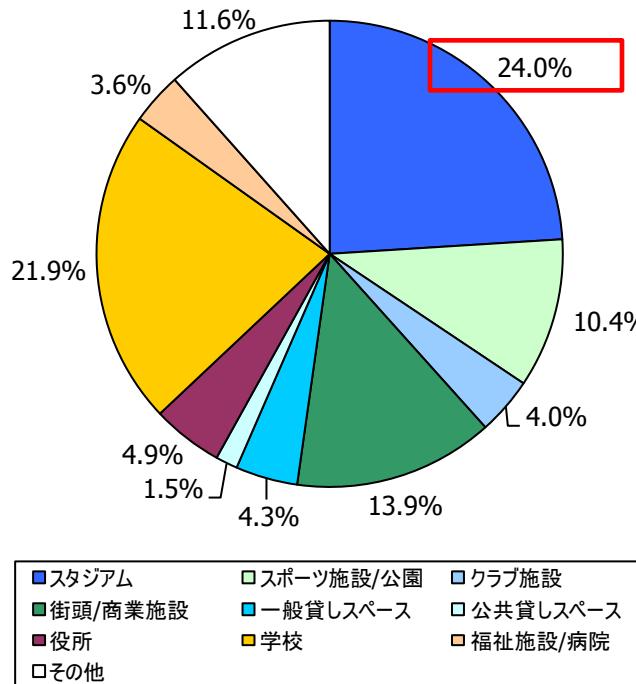
 :その活動ジャンルで最も多い

 :その活動ジャンルで2番目に多い

※ただし、網掛けは顕著に多いもののみ

活動場所(1)

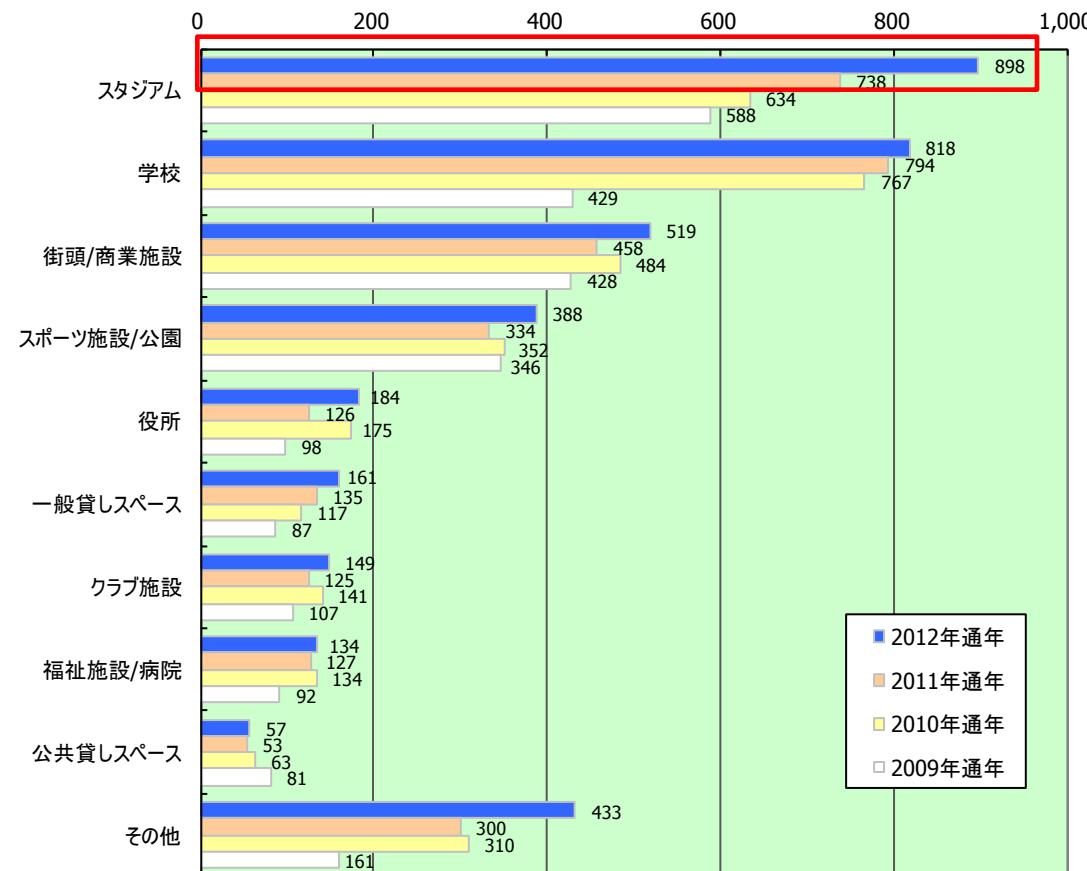
◆2012年 内訳



- 活動場所は年々、「スタジアム」にシフトする傾向。
- 2012年は「スタジアム」での活動がトップで、「学校」を上回る。全体の約1/4を占め、2010年より引き続き増加傾向。
- これに「学校」「街頭/商業施設」が続いている。
- 「その他」の場所には、企業、神社等が含まれる。

◆2012年/2011年/2010年/2009年比較

- 「スタジアム」での活動が大きく伸び、活動場所のトップに。
- この他、伸びが大きいのは「街頭/商業施設」「スポーツ施設/公園」「役所」。「学校」での活動は全体的に活動数が増加したのに比べると伸びが小さい。



活動場所(2)

◆2012年 活動ジャンル×活動場所

- ・「スタジアム」での活動は「ファンサービス」が引き続き最も多い。2012年は活動回数をさらに大きく伸ばしている。
次いで多いのは「サイン会・トークショー」。
- ・「学校」での活動は、「学校訪問」が主な活動となっているが、活動回数そのものは減少。一方、2番目に多い「サッカー教室/イベント」は増加傾向にある。
- ・「街頭/商業施設」は、「地元イベント」の開催場所として多いが、「サイン会・トークショー」「ファンサービス」「集客活動」の場としても活動回数を伸ばしている。

	クラブ施設	スタジアム	スポーツ施設/公園	一般貸しスペース	街頭/商業施設	学校	公共貸しスペース	福祉施設/病院	役所	企業	その他	合計
サイン会・トークショー	44	255	20	9	134	8	12	5	4	12	6	509
ファンサービス	28	390	14	40	106	6	17	0	2	18	7	628
支援団体・ボランティア関連活動	2	25	4	28	9	0	6	0	0	3	0	77
スポンサーイベント	0	6	5	42	10	0	0	1	0	24	3	91
地元イベント	4	8	32	11	122	15	10	1	13	19	21	256
サッカー教室/イベント	46	88	241	10	9	121	3	5	1	7	7	538
スポーツ教室/イベント	0	5	25	2	4	23	1	2	1	3	2	68
学校訪問	1	0	1	1	0	611	0	0	0	0	0	614
介護福祉活動	4	32	22	2	3	13	4	114	7	0	11	212
表敬訪問	0	0	0	1	3	3	0	3	140	241	1	392
講演会	1	0	0	10	0	11	2	2	3	4	1	34
チャリティーイベント	4	56	5	1	9	0	1	0	3	0	2	81
環境活動	0	1	2	0	10	2	0	0	0	0	4	19
集客・広報活動	2	8	0	1	68	1	0	1	5	5	1	92
その他	13	24	17	3	32	4	1	0	5	5	26	130
合計	149	898	388	161	519	818	57	134	184	341	92	3,741

:その活動ジャンルで最も多い

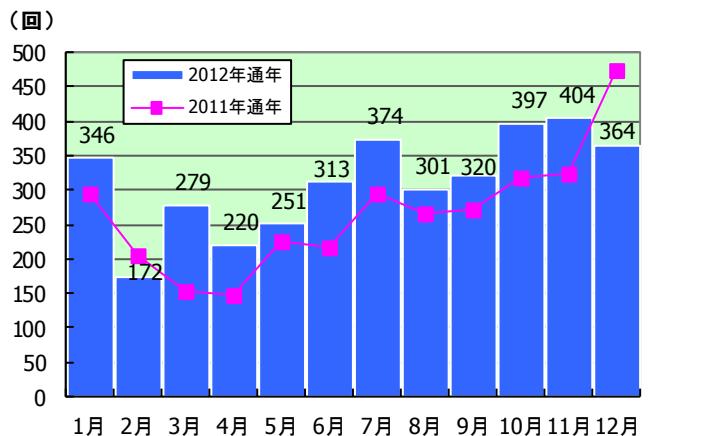
:その活動ジャンルで2番目に多い

*ただし、網掛けは顕著に多いもののみ

活動月

◆2012年/2011年比較

- 最も活動が多い時期は10月、11月。シーズン終盤に、活動が活性化する傾向。ただし、シーズン終了後の12月の活動は、2011年に比べると減少している。
- 全体傾向としては、リーグ開幕期と夏場に活動回数が増加。一端、落ち着いた後、シーズン終盤に再び活動回数が増加している。
- リーグ開幕期の活動も震災の影響から回復。



◆2012年 活動ジャンル×活動月

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
サイン会・トークショー	15	7	59	51	47	48	46	58	52	57	46	23	509
ファンサービス	40	29	48	51	53	61	60	77	55	68	51	35	628
支援団体・ボランティア関連活動	7	8	5	6	14	7	6	2	3	4	5	10	77
スポンサーイベント	7	21	1	3	2	0	3	6	6	7	11	24	91
地元イベント	18	14	8	11	16	14	29	33	17	35	31	30	256
サッカー教室/イベント	41	15	37	11	32	33	63	51	58	70	62	65	538
スポーツ教室/イベント	0	0	0	4	5	11	7	10	5	13	7	6	68
学校訪問	27	10	13	34	30	76	105	6	79	89	108	37	614
介護福祉活動	15	3	21	15	11	20	20	17	16	14	26	34	212
表敬訪問	128	37	52	14	15	6	7	5	4	6	37	81	392
講演	3	3	3	2	0	2	1	3	5	2	2	8	34
チャリティーイベント	4	0	8	5	7	6	8	9	6	16	6	6	81
環境活動	0	0	2	3	1	5	1	2	0	3	2	0	19
集客活動	1	12	11	6	2	13	3	16	11	8	7	2	92
その他	40	13	11	4	16	11	15	6	3	5	3	3	130
合計	346	172	279	220	251	313	374	301	320	397	404	364	3,741

:その活動ジャンルで最も多い

:その活動ジャンルで2番目に多い

※ただし、網掛けは顕著に多いもののみ

・最も活動が多かった10月、11月は、「学校訪問」「ファンサービス」「サイン会/トークショー」を主に実施。

・「サイン会・トークショー」「ファンサービス」はシーズン開幕後から回数が増加し、定期的に活動がなされている。

・全体としては、シーズン開幕の3月からは「サイン会・トークショー」「ファンサービス」が中心。6月、7月の夏季からは「学校訪問」が増加。7月以降は、「サッカー教室/イベント」の活動も増え、幅広い活動が展開されている。

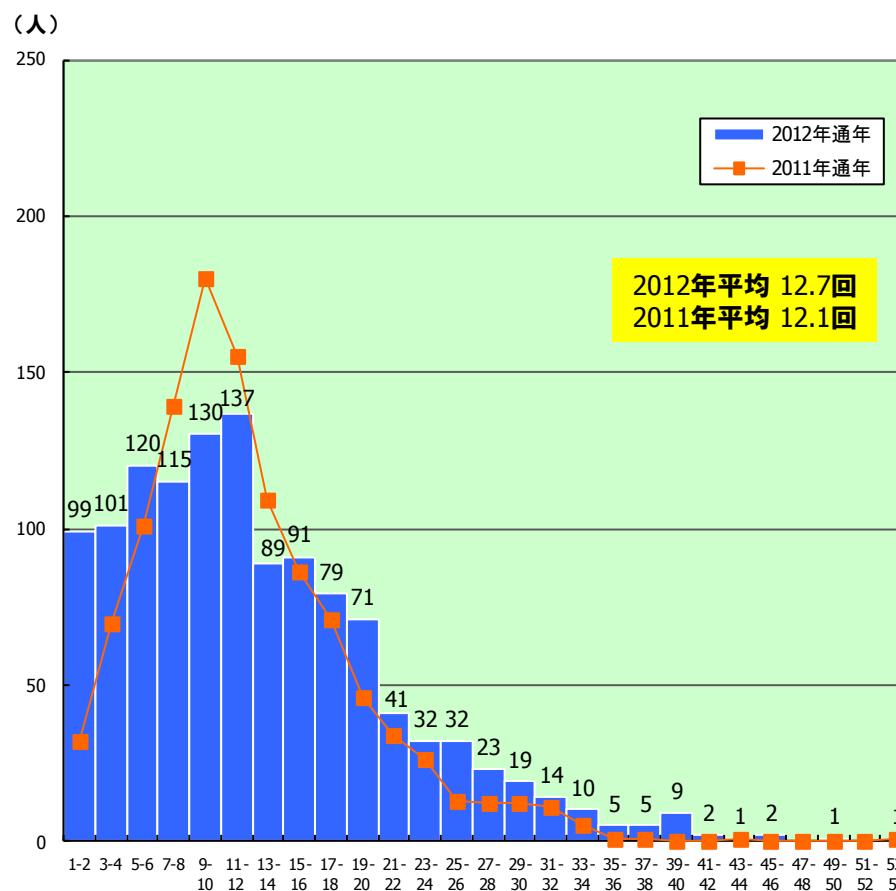
・「表敬訪問」は年始の1月に集中する傾向。大きく数を伸ばしている。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
J1リーグ戦												3/10~12/1
J2リーグ戦												3/4~11/11
ヤマザキ ナビスコカップ				●●●● (3/20, 4/4, 4/18, 5/16, 6/6, 6/9, 6/27)	●●●● 予選リーグ		●●●● 7/25, 8/8 準々決勝	●●●● 9/5 準決勝	●●●● 10/13 勝	●●●● 11/3 決勝		
その他				● FUJI XEROX SUPER CUP (3/3)								

選手の活動

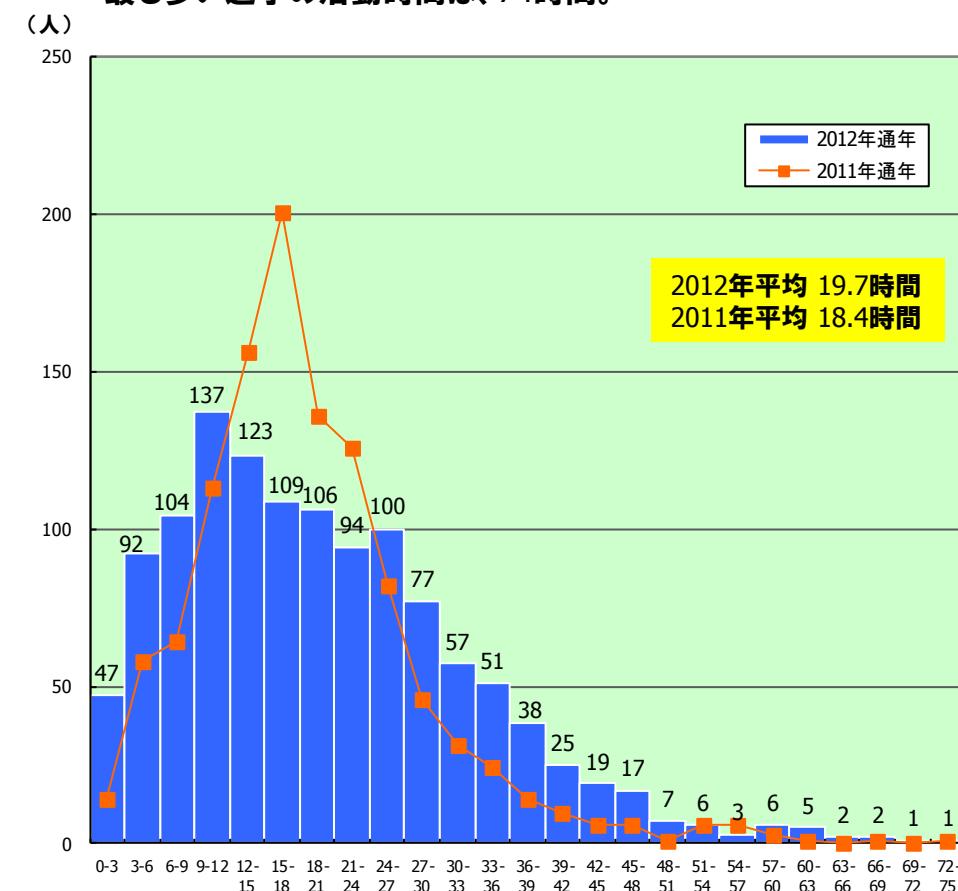
◆2012年活動回数分布（2011年比較）

- 選手ひとりの活動回数は、9-12回がピークとなっている。
2011年は9-10回が最多となっていた。
- 平均活動回数は、12.7回となり、2011年と比較して0.6回の増加となった。
- 最も活動の多い選手の活動回数は54回。



◆2012年活動時間分布（2011年比較）

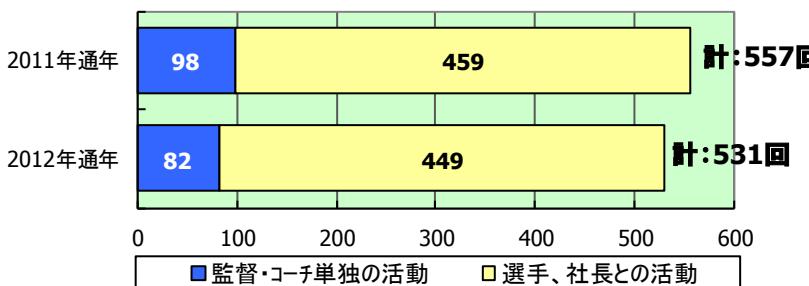
- 選手の活動時間は2011年に比べ分散傾向。
- 3-9時間の短時間活動選手、27-48時間の長時間活動選手が増えている。
- 結果的に、2011年に比べて、平均1.3時間の増加となった。
- 最も多い選手の活動時間は、74時間。



監督・コーチ/社長の活動

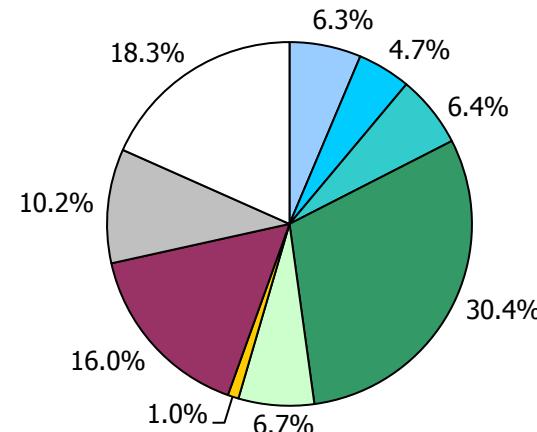
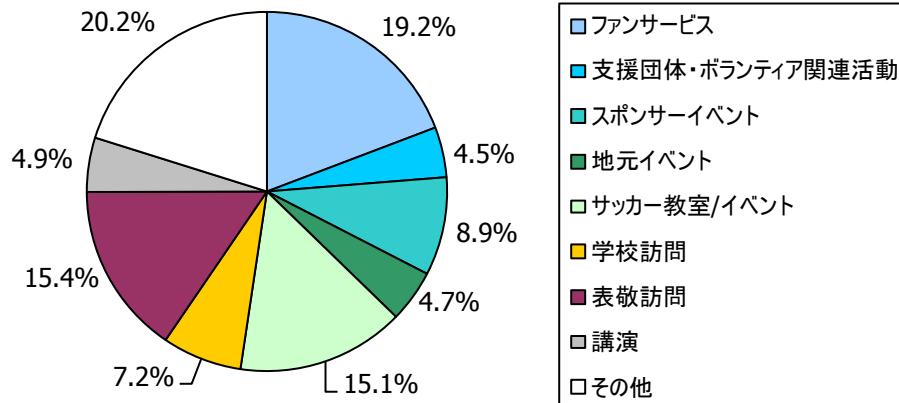
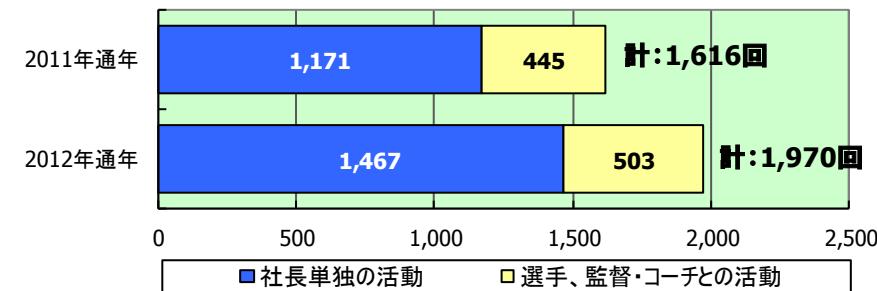
◆2012年 監督・コーチの活動

- ・監督・コーチの活動数は2011年と比べて減少しており、減少傾向が続いている。
- ・監督・コーチが単独で行動するケースは、全体の約1割強。2010年の約2割に比べ、減少している。
- ・活動ジャンルで最も多いのは「ファンサービス」、次いで「表敬訪問」「サッカー教室/イベント」の順になっている。
- ・「その他」には、必勝祈願、クラブへの贈呈式などが含まれる。



◆2012年 社長の活動

- ・社長の活動数は、2011年と比べて大きく増加。
- ・社長単独での活動が全体の7割強で、やや増加傾向。
- ・活動ジャンルは2011年とほぼ同様の傾向。
最も多い「地元イベント」には、地域の会議への出席のほか、新年会や交歓会等への参加も含まれる。「地元イベント」を主催する「行政」や「自治会・商店街」との連携強化活動が多いことが分かる。
- ・「その他」には、監督・コーチと同じく必勝祈願、クラブへの贈呈式などが含まれる。



クラブ別傾向分析

活動回数増減比率

※選手もしくは監督・コーチが参加した活動(社長単独の活動は除く)

- 比較可能な全38クラブ中、約7割弱の25クラブが2011年より活動数を増加させている。
- リーグ全体での活動回数は、2011年比17%増と大幅に増加した。(※2011年クラブ数:38 2012年クラブ数:40)

	2012年		2011年	
	2011年比	2011年差	活動実数	活動実数
全体	117.3%	551	3,741	3,190
札幌	89.5%	-18	153	171
仙台	151.3%	39	115	76
山形	118.7%	26	165	139
鹿島	110.2%	5	54	49
水戸	86.7%	-12	78	90
栃木	114.9%	14	108	94
草津	222.5%	49	89	40
浦和	88.9%	-4	32	36
大宮	62.3%	-26	43	69
千葉	169.0%	40	98	58
柏	60.0%	-18	27	45
FC東京	146.8%	36	113	77
東京V	102.3%	1	44	43
町田	-	-	23	-
川崎F	95.1%	-4	78	82
横浜FM	184.3%	43	94	51
横浜FC	99.0%	-1	95	96
湘南	142.5%	34	114	80
甲府	119.7%	15	91	76
松本	-	-	60	-

	2012年		2011年	
	2011年比	2011年差	活動実数	活動実数
新潟	120.9%	14	81	67
富山	157.5%	50	137	87
清水	148.6%	52	159	107
磐田	195.6%	108	221	113
名古屋	82.8%	-11	53	64
岐阜	121.5%	26	147	121
京都	115.5%	13	97	84
G大阪	131.9%	45	186	141
C大阪	178.6%	11	25	14
神戸	56.5%	-127	165	292
鳥取	123.9%	26	135	109
岡山	100.0%	0	56	56
広島	107.0%	4	61	57
徳島	115.2%	10	76	66
愛媛	125.0%	11	55	44
福岡	133.3%	13	52	39
北九州	81.5%	-5	22	27
鳥栖	135.4%	17	65	48
熊本	94.7%	-6	107	113
大分	98.8%	-2	167	169

 :2011年比、100%より大きいスコア

クラブランキング

■活動数

2012年の選手・監督・コーチの活動回数を比較

①磐田 (221回)

②G大阪 (186回)

③大分 (167回)

■総活動時間

選手のみ

①ロアツソ熊本 (1208.5分)

②モンテディオ山形 (1137.0分)

③コンサドーレ札幌 (1131.0分)

■延べ選手参加人数

2012年に参加した選手の延べ数

①G大阪 (912人)

②熊本 (779人)

③横浜FM(659人)

■選手平均活動時間

選手1人当たりの年間平均活動時間

①熊本(41.7時間)

②山形(39.2時間)

③鹿島(34.0時間)

■上位選手の平均出場時間

活動時間上位10位までの選手の1試合平均出場時間

①川崎F (70.9分)

②草津 (70.1分)

③神戸 (67.8分)

■1つの活動の平均起用選手数

延べ選手参加人数を選手が参加した活動数で割ったもの

①北九州 (8.0人)

②浦和 (7.5人)

③熊本 (7.3人)

■監督・コーチ／社長の活動回数

監督・コーチ 社長

①G大阪 (43回) ①大宮 (312回)

②仙台 (40回) ②仙台 (189回)

③栃木 (32回) ③水戸 (132回)

■クラブ主催/その他主催比率

クラブ主催 その他主催

①町田 (100.0%) 新潟 (71.6%)

①横浜FC (100.0%) 甲府 (69.2%)

③徳島 (94.7%) 北九州 (63.6%)

活動ジャンル傾向(1)(サマリー)

(各クラブの選手もしくは監督・コーチが参加した活動のうち最も多い活動で分類)

サイン会・トークショー

水戸^(*)、栃木、大宮、横浜FM、甲府、松本

ファンサービス

札幌、水戸^(*)、草津、浦和^(*)、千葉、横浜FC、湘南、新潟、G大阪、C大阪、北九州^(*)、鳥栖

学校訪問

山形、柏、富山、京都、神戸、広島、大分

サッカー教室/イベント

鹿島、F東京、名古屋、岡山、愛媛、福岡、熊本

上記のジャンル以外

支援団体・ボランティア関連活動

東京V

地元イベント

北九州^(*)

スポーツ教室/イベント

鳥取

介護福祉活動

仙台、徳島

集客活動

町田

表敬訪問

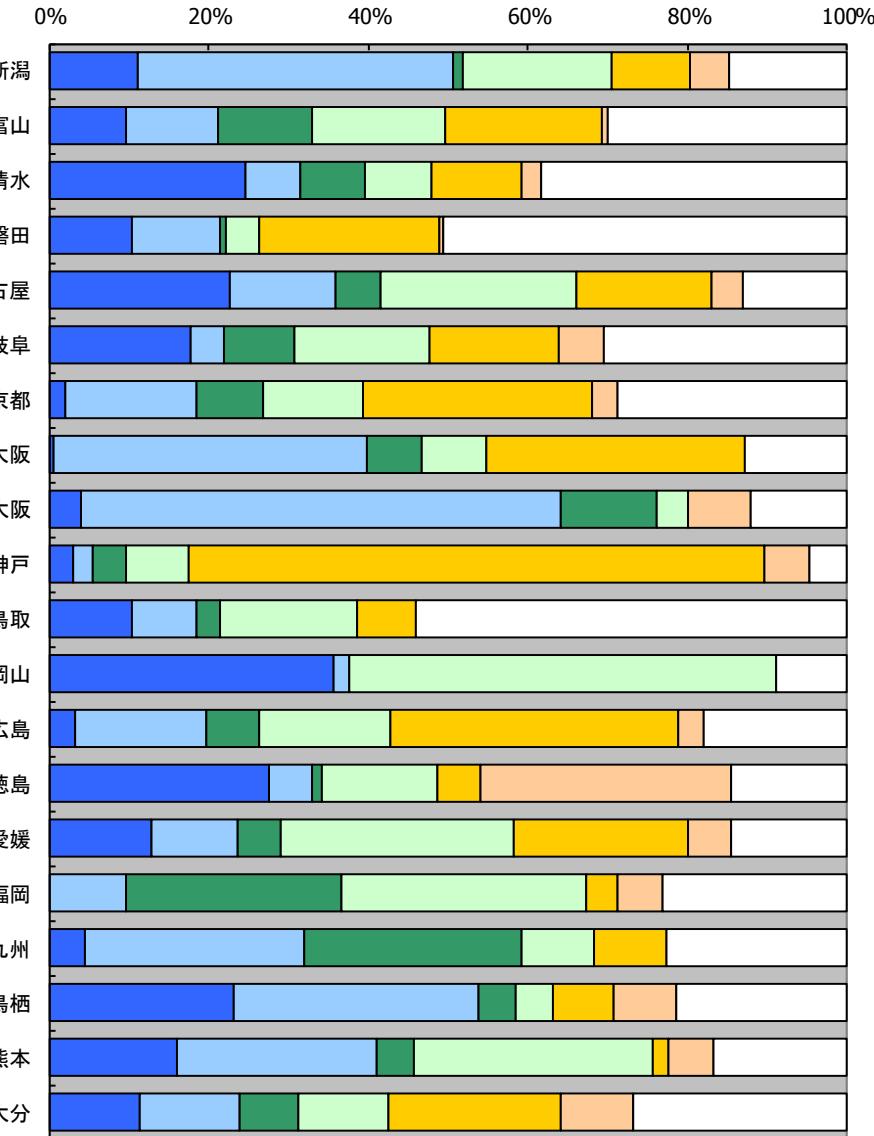
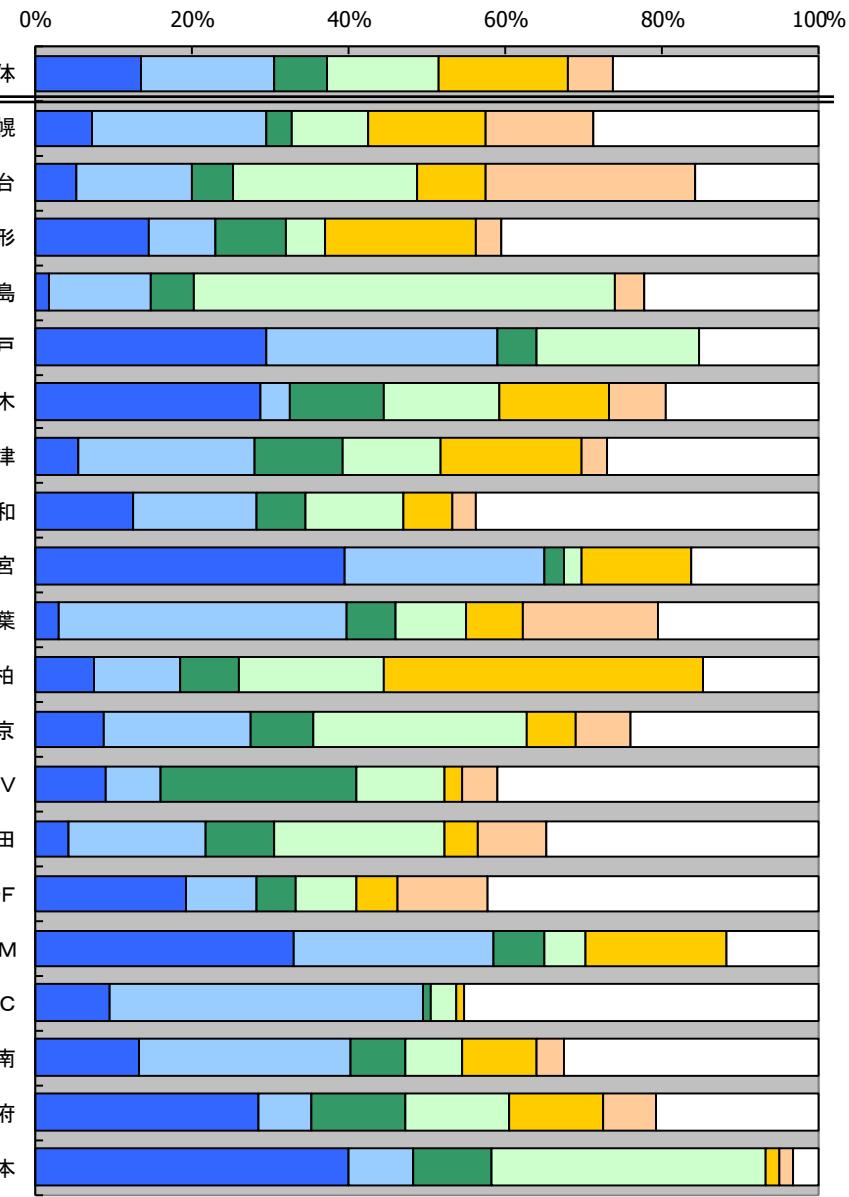
浦和^(*)、清水、磐田、岐阜

その他

浦和^(*)、川崎F

*最も多い活動が複数あるクラブ:水戸、浦和、北九州

活動ジャンル傾向(2)(データ)



■ サイン会・トークショー ■ ファンサービス ■ 地元イベント ■ サッカー教室/イベント ■ 学校訪問 ■ 介護福祉活動 ■ その他合計(表敬訪問、支援団体/ボランティア向けイベント等)

活動対象傾向(1)(サマリー)

(各クラブの選手もしくは監督・コーチが参加した活動のうち最も多い活動で分類)

ファン/サポーター

山形、水戸、栃木、草津、浦和、大宮、千葉、東京V
川崎F、横浜FC、湘南、清水、C大阪、鳥栖、熊本

スポンサー/株主

磐田

地域住民

仙台、町田、北九州

小学生以下

札幌、鹿島、柏、F東京、横浜FM、甲府、新潟
富山、名古屋、岐阜、京都、G大阪、神戸、鳥取
岡山、広島、徳島、愛媛、福岡、大分

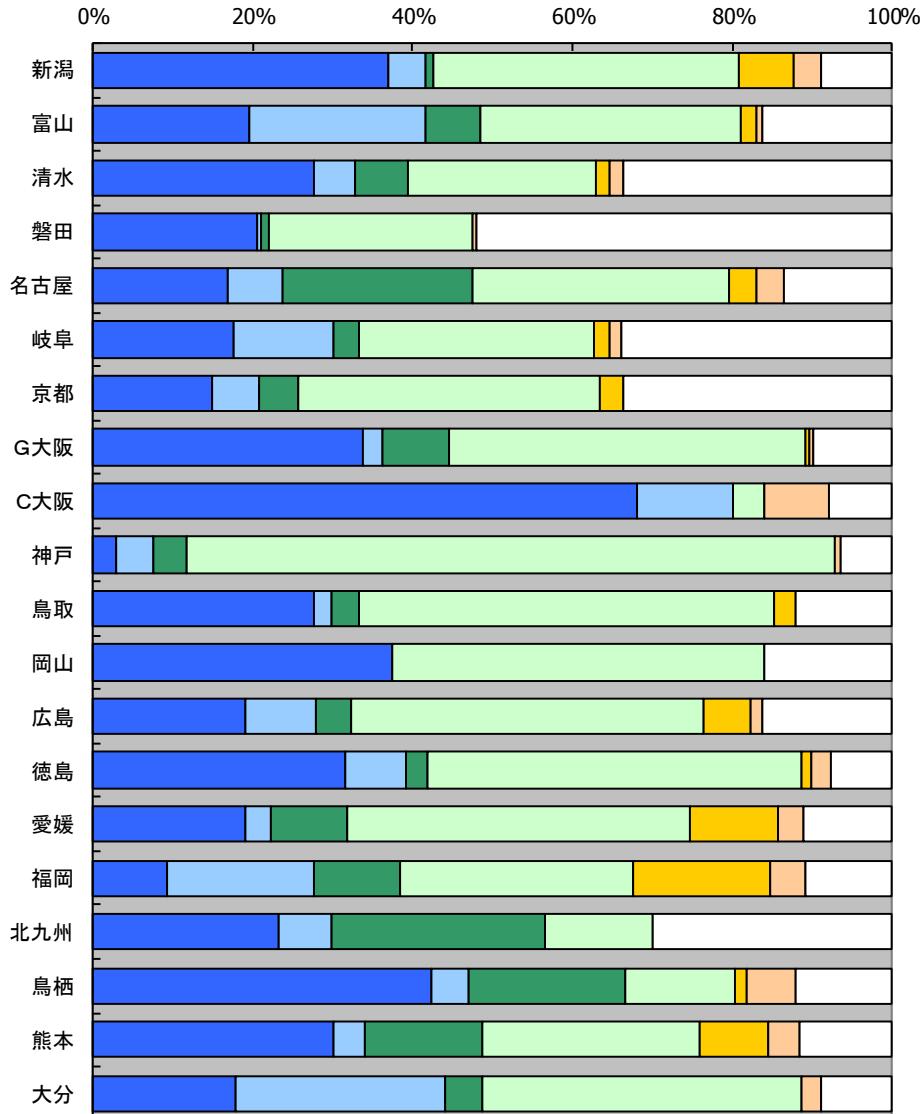
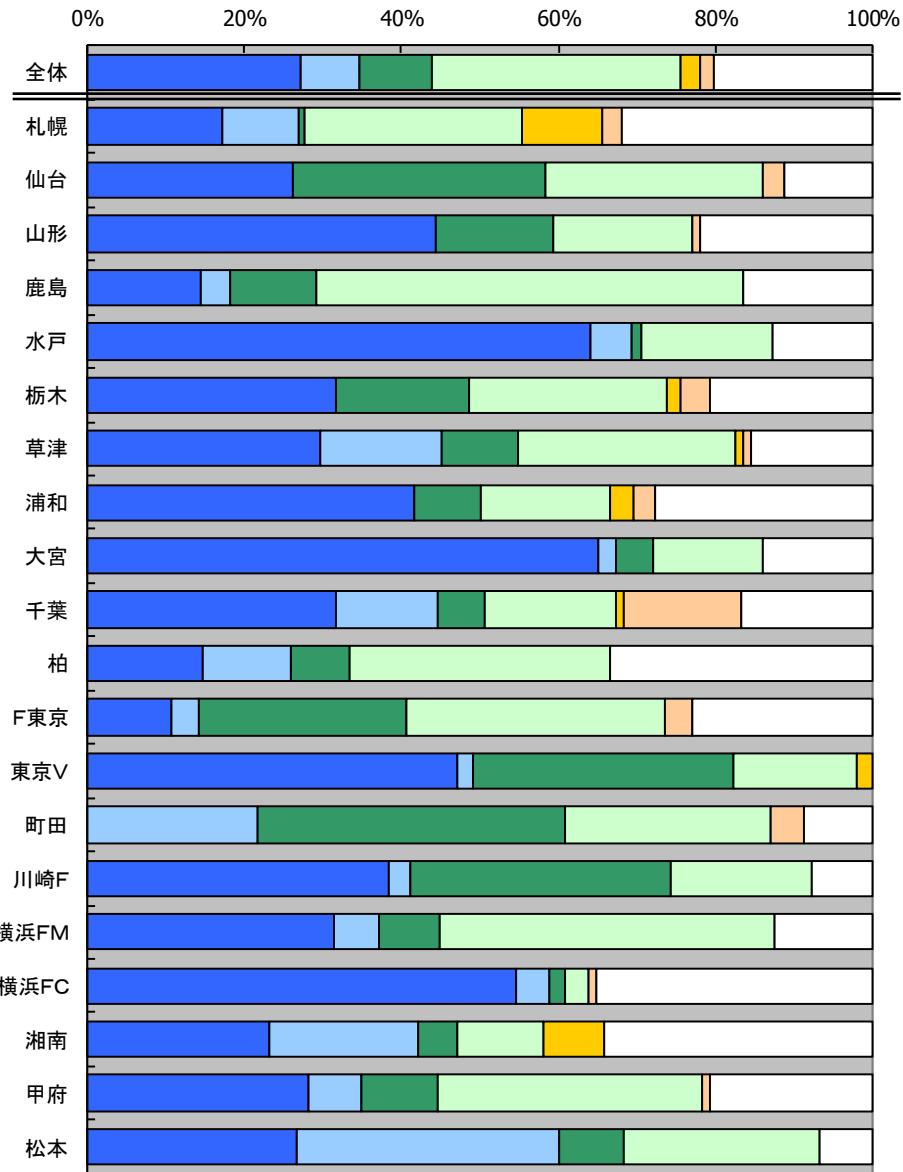
上記の対象以外

不特定

松本

※最も多い対象者が複数あるクラブ:仙台、柏

活動対象傾向(2)(データ)



■ ファン/サポーター □ 不特定 ■ 地域住民 □ 小学生以下 ■ 保護者 □ 障がい者/高齢者 □ その他合計(スポンサー、中学生以上、行政、教職員/指導者 等)

活動時間の多い選手(上位3位)

単位:時間

札幌	
前 貴之	67.0
三上 陽輔	61.0
小山内貴哉	60.0

仙台	
越後 雄太	35.5
奥埜 博亮	32.0
藤村 廉太	32.0
比嘉 厚平	58.0

山形	
日高 慶太	61.0
鈴木 雄太	59.5
小笠原満男	46.0

鹿島	
遠藤 康	61.0
中田 浩二	53.0
小野 博信	21.0

水戸	
飯田 優二	27.0
金久保 彩	21.5
柴崎 邦博	37.0

栃木	
赤井 秀行	45.5
菅 和範	42.0
有薗 真吾	26.5

草津	
乾 大知	31.0
横山 翔平	28.0
市川 雅彦	13.5

浦和	
加藤 順大	26.5
柏木 陽介	23.0
小島 秀仁	22.5

大宮	
橋本 早十	16.0
清水 廉記	15.0
坪内 秀介	13.5

千葉	
佐藤 祥	58.0
井出 遙也	52.0
町田 也真人	44.0

柏	
川浪 吾郎	16.0
工藤 壮人	12.0
桐畑 和繁	11.0
クォン・ハンジン	11.0
渡部 博文	11.0

FC東京	
谷澤 達也	68.0
平山 相太	43.0
椋原 健太	42.5

東京V	
田中 貴大	16.0
秋葉 勇志	16.0
館野 俊祐	12.0

町田	
大竹 隆人	7.5
野口 貴裕	6.5
先崎 勝也	5.5

川崎F	
田中 淳一	45.0
高木 駿	37.5
福森 晃斗	35.0

横浜FM	
中村 俊輔	35.5
谷口 博之	35.5
兵藤 慎剛	34.5

横浜FC	
内田 智也	14.5
村井 泰希	14.5
小野瀬 康介	13.5

湘南	
馬場 賢治	33.5
猪狩 佑貴	30.0
亀川 謙史	30.0

甲府	
堀米 勇輝	34.0
崔 誠根	31.0
柏 好文	29.0

松本	
小松 憲太	19.0
片山 真人	18.0
塙沢 勝吾	15.5

新潟	
三門 雄大	19.5
渡辺 泰広	19.0
田中 亞土夢	17.5

富山	
吉川 拓也	61.5
明堂 和也	52.0
金井 大樹	45.5

清水	
八反田 康平	28.5
河井 陽介	25.0
村松 大輔	24.0
鍋田 亜人夢	24.0

磐田	
山田 大記	50.1
金園 英学	48.0
押谷 祐樹	44.0

名古屋	
阿部 翔平	27.5
水野 泰輔	26.0
小川 佳純	24.5

岐阜	
中島 康平	45.0
村尾 龍矢	44.0
川島 真也	34.5

京都	
伊藤 優汰	44.0
国領 一平	36.5
原川 力	36.0

北九州	
小森田 友明	20.0
池元 友樹	15.0
安田 晃大	13.0

鳥栖	
赤星 拓	37.0
黒木 恭平	30.5
黒木 晃平	30.5

熊本	
畠 実	74.0
甲斐 敬介	69.5
白谷 建人	63.5

大分	
上福元直人	55.5
井上 裕大	51.5
宮沢 正史	50.5

■:試合当たり平均出場時間60分以上の選手
■:試合当たり平均出場時間10分以下の選手